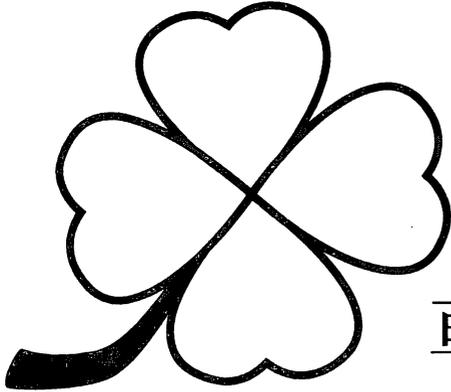


# サロンのあべの

VOL. 145



## 草木に習うこと

サロン・あべの6月の出会い

98年6月20日(土)、育徳コ

ミュニティセンター2階研修室  
において、△サロン・あべの▽

6月の出会いを開催しました。

今月は「草木に習うこと」と

題して山口康二郎氏(日本園芸  
協会会員・樹医・家庭園芸士)

にお話をお願いしました。

山口氏は元大阪府立の養護学

校に勤務されておられ、そこで  
知的障害者が園芸に喜びを持つ

て取り組む姿に接して、植物に

関心を持たれました。

現在は、草木と共に自然を楽

しみながら人間のあるべき姿を  
見つけ、ご自身の生活もそうあ

りたいとのお考えを交えてお話  
をしていただきました。

○植物は人類の大先輩

草木は、土から生まれ、土に

育てられ、死を迎えて土に還り  
ます。自然の動植物も死んで、  
元の0に戻ります。

人間はよく一人よがりになり  
がちですが、誕生の歴史から見  
ると植物は人類の大先輩になり

ます。地球の誕生は45億5千年

前、植物の誕生が40億年前頃。  
その後、高等植物や昆虫、脊椎

動物の誕生が4億年前。そして、

人類は原人から旧人、新人(ホ

モ・サピエンス)になるのが5  
000万年前から4万年となっ

ています。が、諸説があつて人

類誕生には億単位の年間差があ  
ります。その点、植物の誕生は

確かに人類より大先輩であり、  
誕生してから地球に多くの働

きをしてきています。それでい  
ながら地球を汚すことはしてい

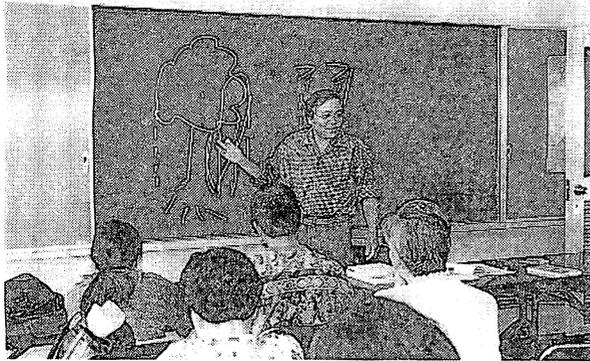
ません。4億年前より植物は地  
球と一体になって自然を育み人

類の営みを支えてきました。土  
に還り、栄養土となり、新しい

命を芽吹かせてきました。このように還元されて収支は0。現状維持がなされてきたわけです。それに反してこの40〜50年前からの人間は、地球を汚し壊し始めました。地球の温暖化が進んでいるのは、自然に還す発想が不足しているからです。エコロジーを考えると貯金は0にすることがです。

植物が人間に与えてくれる物には、酸素や食料などがありますが、それら生命を育む物質だけではなく、「みどり」という色や言葉に人々の感性が宿っています。それは、山野の景色に見る安らぎや回復力の「緑」、成長や若さを表す「みどり児」や「みどりの黒髪」があります。また、昔の色覚は黒と白の間に青があるとされており、緑を「青」とも呼び表されています。今も緑の信号灯を青と呼んだりしています。「紅一点」と

いう言葉がありますが、これは「万緑の中の紅一点」という漢詩の一節で花の美しさを歌っているもの。緑のバックに紅の花。花は昆虫を呼び結実を助けてもらう、実が育つと次世代が生まれます。植物は、色だけでなくフィトンチッドという健康を促進する成分をも発散させていま



山口康二郎さん

す。これは血圧安定や自立神経を正常にする効果があり（雨上がりの午前10時〜午後2時頃が最高に出る）、森林浴は健康に良い、病気を癒すといわれるゆえんです。また、そのように自己暗示にかけると気が勝って気力を持つことができます。しかし、これも他の植物には殺菌素となつて自身のテリトリーを守る役割もしています。

人間が緑を欲するのは、二足歩行になつて森から草原へと移つて行った頃が原点、その頃から緑を好んできたのでしょう。

### ○草木を育てて思うこと

子育てに過保護がダメなように、草木も過保護（水や肥料のやり過ぎ）はダメ。毎日、声掛け 目を掛け 手を出さず、草木が欲してから与えること。

草花は人を癒す、園芸が健康

に良いと言われていますが、人間の体内にはプラスイオンが蓄積しやすいので、土いじり（大地の土⇨地球）をしてプラスイオンを放し、地球に還すということで、健康が回復し元気になるということです。

植物は他と争いません。平和・共存主義です。自然界の動物は自然に還す術を知っています。人間は進化してその反省を忘れていきます。エコロジーで無駄を省き、すべて土に還すことが大切。そこから地球環境破壊を防ぐ方法を学んでいきたいものです。

幅広いお話しを伺った後は、参加者からの草木の手入れ法や土作り、虫退治の質問などがあり、それぞれにお答えいただきました。

ありがとうございました。

参加者27名（富田慶子）



## 大切なこと

出口 美和

街には、景観を美しくするためにも木が植えられている。

昼間は緑が映え、ベンチでお弁当をひろげてリラックスする人たちの様子が見られる。しかし、夜になると一変する。ここ数年イルミネーションなるものが多くなり、木が光りを放ち飾られている。

とくに、クリスマスの頃になると、百貨店やビルの周りには電球だらけの木が輝いている。初めは目新しかったが、今では同様のものが多く、食傷気味の感が否めない。そのうえこの木を陽の高い時間に見るとまさに無残である。電線でグルグル巻きにされているその姿は、木にとって迷惑以外にはないだろうし、影響がないはずがない。

街を演出することは結構なことだが、木は生きているということも忘れないでほしい。自然との共生Vなんて大層なものではない。ただ人の都合のみを優先していると、大切なことを見失うことになるかもしれない。

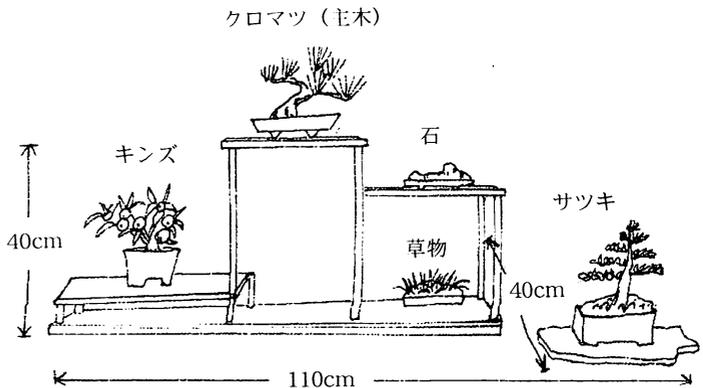


## 自然の楽しみをいつまでも…

杉山 蔦枝

バラやラベンダーなどの香りの強いハーブを使い、生活に潤いを持たせようとすると人が増えていきます。我が家でもレモンバーム、パイナップルセージ、アップルミントなど、娘からもらって植えたハーブが身近にあると、ちょっと摘んで来てお茶に入れる。それだけで日々の暮らしに新しい彩りが出来て心豊かに香りづけられています。見渡す限りのラベンダー畑に立った気分

になって、いつも見慣れていた我が家のラベンダーを眺めると、またしあわせなものです。狭い庭に「はまゆう」の白い大きな花が見事に開き、その足元には「ノースポール」の小さな花が背伸びするように咲き出しました。いまに花いっぱいが増えるそうです。



小品盆栽5点飾りの例 (資料提供 杉山さん)

以前、小品盆栽に凝っていた主人とよく山野草を求めて出掛けました。名も知らぬ山野草も持ち帰って小さな鉢に植えて、小品盆栽の飾り棚に納めると、それは見違えるばかりに味わいがあつて立派に見えたものでした。それから、今まで何気なく抜いていた雑草にもそれぞれにふさわしい名前のあることを知り、いとおしくて抜けなくなりしました。

今、荒れているといわれる学校でも、花壇を作つて花には名札を付けると、子供達も関心を持つて自然と和んでくるといわれています。四季それぞれに喜びや、忘れられない思い出を作つてくれる花は、また我々を楽しませストレスをも解消してくれます。

しかし、市街地にも自然はあふれ、大気は澄み渡り、こよなく美しかった戦前に比べ、今はそれらはなく環境は汚染され、人類絶滅の危機すら自らが招こうとしていきます。なんとかかつての美しい自然環境を、今のうちに取り戻すようにみんなよく考えて実行しなければならぬ時期に来ているのではないのでしょうか。

### ハイビスカスの花

堀田 ゆかり



私の生まれ育つた南国・奄美大島の花と  
いうとハイビスカスです。

故郷の学校の裏庭や、家の近所にも真っ赤な花が咲いています。

子供のころは、友達とハイビスカスの花を取つて髪飾りにして遊んだものでした。

ハイビスカスは、大島紬にも使われています。

これから私も趣味でもあるレザークラフトに、ハイビスカスの花を取り入れてバッグなど作れたらいいなあと思います。



### 草木に習う三部作

中西 利香

夏の花といえば「ひまわり」と相場が決まっていますが、昨今は春早々に花屋の店先に現れたりしています。野菜や果物にも季節感がなくなりました。少しでも早く季節の走りを…という人間のエゴと社会情勢が結びついてこのようになったのでしょうが、味気ないことです。

子供のころから外出が不自由な私は、外の季節を肌で感じることは少なく、その分母や妹がその時々季節を持ち帰ってくれました。冬は雪だるまや薄氷、春は桜のはなびらであったり、クローバの束であったり…、食べ物も初物を食べると長生きするからとその季節の到来を少し早く感じさせてくれる物や、その時期の出盛りの物などを用意してくれました。それらに接するその時々がとても嬉しいことでした。今を生きている実感というか、時の流れに身を置いている確かさがありました。今日という日だけではなく明日に繋がる心の広がりや季節の中に見ていたように思います。

ところが昨今は…云々と言いたくなるようなことが多いですね。特に今年は自然の花も早咲き乱れ咲きの感がありましたが、お花屋さんの店先に紫陽花の鉢とコスモス

の鉢が並んでいるのを見た時は「世も末」という言葉が胸をよぎりました。どちらも好きな花だけに哀しく残念でした。それほどまでに季節をませこぜにしているものでしょうか。春は桜、夏の花は朝顔とひまわり

り。そして、朝顔には夏の朝の清涼感、ひまわりには炎天下の温度を感じていました。

私が昔、我流でちぎり絵をしていた頃、近づく季節に思いを託し和紙を重ねていきました。このひまわりも6月30日作となっています。きっと梅雨の後期で、キラキラ輝く太陽を待ち望みつゝ作ったのかもしれま

せん。そのころのひまわりは、今のように小ぶりではなく、背も高く花も大きく見上げるようなものでした。花の種は食用にもなり、煎って食べたり、飼っていたインコのおやつに与えたりしたりもしました。

そのような種なら、次の年にはまた新しい芽を出して花を咲かせていたのかもしれない。しかし、今日のようなひまわりの花の種では、新芽を出すことが出来ないでしょう。一代限りでは、花の咲く意味もないのではないのでしょうか。実りたいがために美しい花を咲かせて、虫を呼んでいるという話を聴くとおさらです。



## ひまわり

富田 慶子





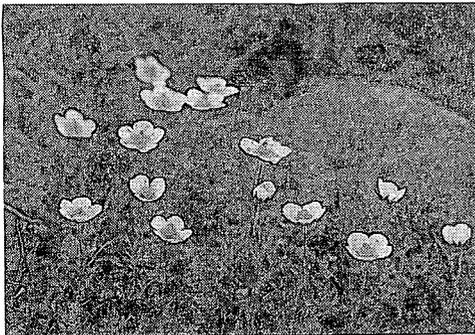
## 高山植物の魅力

山野 莊一

今年も夏山の季節を迎えて現地からの情報を送られてきている。最近花、とりわけ高山植物についての記事が特に目立つ。

北アルプスの人気コースはこれからのシーズン中は花を愛でる中高年の女性達のグループが多く、登山路に列をなす。ご多分にもれず私も出掛けるが少しでも閑静な場所はないかと検討をしている。比較的人影の少ない山域でたくさん種類の高山植物が厳しい自然条件の中で可憐な花を咲かせている様は本当に一刻心がなごむ。

「お花畠で昼寝をすれば蝶々が飛んできてキスをする」の歌詩があるが、今はほとんどのお花畠は立入禁止で花と共に望むべくもない。その昔、仲間と寝転んで雲の



§チングルマ

多少黄みがかった白い花で10cmくらいの高さで可憐な花は群落をなして、登山者に親しまれる。写真に修めるには揺れ動くのでなかなか苦労する。



§キヌガサ草

大きな葉に囲まれてその中心に白い花を一つ咲かせる。一度見たら忘れない独特な姿で日陰に多いので写真になりにくい、サーッと光が射した一瞬はとてもきれいだった。



§ハヤチネウスユキソウ

東北の早地峰山（はやちねさん）にしか見られないもので日本のウスユキソウの中では最もヨーロッパアルプスのエーデルワイスに似ているという。高さは15~25cmくらい、この写真は終日雨で、一日中低い姿勢でシャッターを押した。



サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴一五〇円



流れをみながら語りあつた山行<sup>さんこう</sup>をなつかしく思い出す。近年はなんとか一枚でも見るに値する写真をと、重いカメラを背に山に向かうが、心をそるような写真はなかなか思うようにゆかない。今年もまた未熟さを思い知らされることになるだろう。

お知らせ

<サロン・あべの> 8月の出会い

日時 8月2日(日) 午後1時~7時

場所 第25回あべのカーニバル会場

「なんでも市」通り

[阿倍野区役所裏工芸高校グラウンド]

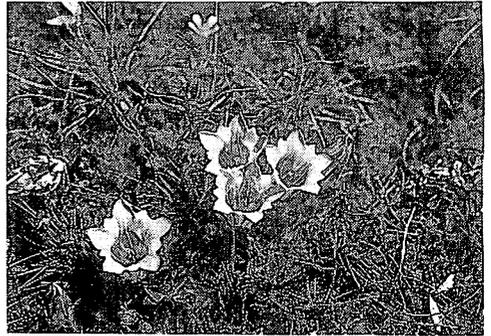
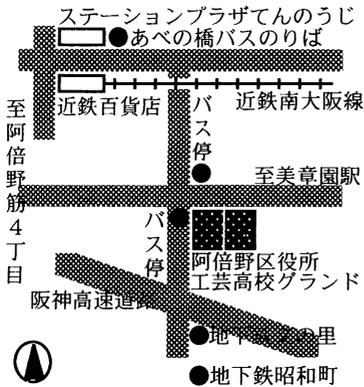
内容 「さろん亭」開店

皆様のご来場を心からお待ち申しあげております。

<サロン・あべの>の運営資金調達にご協力ください。

お問い合わせ先

☎06-691-1028 (富田慶子)



§ Gentiana Depressa

ネパールの人達はとても花が好き、私の友人達の家にも日本の花の種が随分と渡っている。山にも花は多いが、山のよく見える時期は残念ながら花は少ない。リンドウ科の花がゴキョへの道に咲いていた。学名は Gentiana Depressa 花名は相当する和名はありません。



# 作る つくる 創る

## 河合恵子

暑い夏です！

長野オリンピックに続いて行なわれたサッカーの世界カップもあつという間に決勝戦。七月のサロンあべの開かれる頃には優勝もフランスとブラジルのどちらかに決着がついているはず。寝不足の目をこすりながらテレビに見入っていた私には国内外の熱狂的なサポーターたちがとても印象的。同じユニフォームを着て、選手の動きに一喜一憂。集団での応援は熱気ムンムン。六月、日本チームが勝てなかったのはとても残念。でも同じく初参加のクロアチアが第三位。日本もよく頑張ったのですね。

ところで日本の対戦の相手、アルゼンチンとクロアチア。この二つの国が

どこにあるのか、どのような国なのかご存知ですか。気になって世界の国一覽表で調べてみると次の通り。

アルゼンチンは南アメリカ大陸の東側に細長く広がる共和国。ブラジルと



の間にポリビア、パラグアイ、ウルグアイの三国を挟む二七八万平方キロ、人口三五〇〇万人の国。日本は三七・八万平方キロ、一億二五七六万人です。からアルゼンチンの面積は日本の約七

倍、人口は約四分の一。言葉はスペイン語。

もう一方のクロアチア共和国はハンガリーの南に位置する五万七千平方キロ、四五一万人の国。面積は日本の約八分の一、人口は二八分の一。クロアチア語が国語。

優勝戦のブラジル連邦共和国は八五一、二万平方キロ、人口一億五七七八万人。ポルトガル語。フランス共和国は五五・二万平方キロ、五八三八万人。もちろんフランス語の国。日本との比較は電卓を叩いてみてください。

よく聞く名前の国でも案外その広さや住んでいる人について知らないもの。次は夏休みに熱闘を繰り広げる高校野球。今度は日本地図を手にテレビを見ようかしら。いかがですか？

## ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、  
生き生きした生活を送るために—

4

伊藤智佳子

れるからである。

【わが国における障害をもつ者同士のピア・  
カウンセリングの導入過程】

3. 自立生活センターと

ピア・カウンセリング

各地に設立された自立生活センターの具  
体例として、ヒューマンケア協会（東京都  
八王子市）、町田ヒューマンネットワーク  
（東京都町田市）、AJU 車いすセンタ  
ー（愛知県名古屋市）などを挙げることが  
できる。

周知のように、全国の自立生活センター  
の連絡・調整機関として全国自立生活セン  
ター協議会（Japan Council on  
Independent Living Center、以下J  
ILと略、東京都立川市、1991年11月  
設立、設立当初の事務局は東京都文京区）  
が設立された。JILでは、自立生活セン  
ターの基準を、（1）運営責任者と実施責  
任者が共に障害者であること、（2）運営  
委員の過半数が障害者であること、（3）

権利擁護と情報提供を基本サービスとし、  
かつ①介助サービス、②住宅サービス、③  
ピア・カウンセリング、④障害を越えたサ  
ービスの提供の4つの内2つ以上を不特定  
多数提供していること（全国自立生活セン  
ター規約）と規定している。自立生活セン  
ターの特長は、①実質的な障害者主導、②  
事業体としての運動体であることにあると  
思われる。現在、JILの加盟団体は、正  
会員、準会員、未来会員を含め77団体を数  
える（1998年7月現在）

JILの規定する自立生活センターでの  
4つのサービスのうち障害者による障害者  
のための援助活動の特長が一番現れるのは  
ピア・カウンセリングといえる。というの  
は、介助サービスや住宅サービスなどは障  
害をもつ本人が提供する方が障害をもたな  
い人が提供するよりも、より障害をもつ本  
人たちの本来に必要なサービスの提供  
につながると思われる。しかし、障害を  
もつ本人でなければ提供できないサービス  
であるとは必ずしも言うことはできない。  
一方、ピア・カウンセリングは『ピア』  
・カウンセリングという言葉を使って行わ

前号（VOL. 144）では、わが国へ  
の障害をもつ者同士のピア・カウンセリン  
グの導入過程を、わが国の「自立生活」運  
動の展開・発展と形づけ整理した。今回は、  
わが国の自立生活センターの中でのピア・  
カウンセリングの位置づけについて整理す  
る。というのは、障害者の「自立生活」を  
支援するためには、自立生活センターの機  
能を果たす何らかの機関が必要となる。こ  
れらの機能を果たす機関にはピア・カウ  
ンセリングは必要不可欠な活動であると思わ

れる以上、障害をもつ人のピア・カウンセリングに限定すれば、障害をもつ本人でなければ行い得ない援助活動である。ただし、『障害をもっている本人』であることだけでピア・カウンセリングを行う人になり得るわけではない。

ピア・カウンセリングの最大の目的は、障害を受容し、障害を含めた自己を受容し、ありのままの自分の人生を送ることを可能にすることである、と筆者は理解している。

## 夏

梅雨が明けるや、セミの大合唱。  
ジリジリと油の煮えるような声で  
鳴きしきるアブラゼミに焼けつく  
夏の暑さを覚え、汗のにじむ心地  
がする。  
なにがなんでも「かるた」です。

解説き かるた 毎号 一五〇円

そのため、障害をもつ自己受容の過程で、すでに障害を含めた自分を一定程度受容し、自分なりの生活を創りあげ、自分なりの人生を送る障害者が、ピア・カウンセリングというひとつの援助技術を使い、援助者として援助を必要としている障害をもつ本人たちに果たす役割は大きいと考える。

先述したように、介助サービスマンや住宅サービスとは異なり、障害を持つ自己を一定程度受容し、自分なりの生活を創りあげていない人、さらにピア・カウンセリングというひとつの援助技術を一定程度習得していない人では、障害・障害をもつ自己を受容する援助過程で援助することは難しい。

自立生活センターでのピア・カウンセリングは、自立生活センターが実質的に障害者主体であることを一番現す物として、もうひとつは情報提供の側面というよりもむしろ、日常生活を送り続ける際に、『ピア』である人に自分自身の心の声を聴いてほしいと思っっているもう一人の『ピア』である人の声を一対一で聴き合う物として、機能しなければならぬと筆者は考えている。

〈サロン・あべの〉の皆様へ

暑い日が続きますが、皆様お元気ですか。いつも、サロン紙をお送りいただき、ありがとうございます。

毎回、一カ月たつのは早いなあと思いつつながら読ませていただいています。今回の記事の中で晴明神社の白きつねのことがあり、「葛の葉きつね」の伝説のことを知りたいとのこと。主人は阿倍王子神社と安倍晴明神社の両方の宮司を兼ねています。「安倍晴明神社の伝説」と題して、わかりやすく書いたものがありましたので、参考にしていただければと思います。

また、例会に参加したいと思っております。

あべのカーニバルでのご活躍をお祈りします。当日は、お寄りしますネ。

王子神社敬神婦人わかば会

長谷川麻美子

## ★視線のまじわり

博物館でミイラを見ていた。「太古の美女」という説明が添えられていたが、ミイラであることには変わりがなく、何を根拠にこの人を「美女」と呼ぶのか理由がわからなかった。

周りの人の誰もが彼女の身体のあちこちを指差し、顔をしかめ、恐ろしそうに眺めたりしている。生きていたら、こんなにも無遠慮に多くの人から見られることはなかっただろう。

物を見るように人を見ることはできない。見られた人にも視線があるからだ。不愉快なほどに見つめられたら、その目を見返すとよい。そうすれば相手は自分もまた見られていることを知り、視線を降ろすだろう。目の不自由な人も相手がそこにいることに気づいていると伝えれば、相手に視線を返すことができる。

ミイラになった人には、それができない。もはや視線ももたず、相手の存在に気づいていることを伝える術もな

い。だからこそ、もはや人ではないかのように、際限なく不特定多数の人の視線に晒(さら)されているのである。しかし、ミイラの前に長くどどまる人は少ない。そこに長くいても、ミイラの姿以上のことは見えてこないから



だ。その人がどんな名で呼ばれ、どんな思いで、どんな生活をしていたのか。ガラスのむこうに横たわるミイラは何も語ってはくれない。

相手のことを気づかうことなく、思うがままに見ることができると思っ

いたら、実は何も見えてこないことを知らされる。視線に無抵抗な人の前に立てば、すべてを見通すことができると思いがちだが、たいいていの人はほどなく、それは誤りであることに気づく。

ミイラになった人は、すべてを見せているようで、ほんとうは何も見せてはいない。ミイラを前にして視線の針を思いのままに動かしていた人々は、たちまち挫折を味わう。生きていることからの優越感は、わずかの時間しか続かない。死者は敗北したのではなく、死の彼方に眠っているだけなのである。

人々がミイラを見る好奇の目には、自分が見られることなく相手を見ることのできるという幻想がある。そういうえば、人の心を読む技術を並べた本も同じ幻想をもとにしているのだろう。

人がどんなことを思っているのか知りたい、しかし自分は心のなかを見られたくない。そういう気持ちだが、ミイラ

を前にした好奇の目と死の沈黙による失望を生み出すのである。

有名人の私生活を暴く雑誌や放映番組に飛びつく目は、ミイラを前にして乾く目と通じる。人の噂話をし、そこに居ない人の話はいくらでもできるけれども、向かい合って相手と自分の話ができない。

しかし、ミイラが何も語ってくれなかったように、視線がまじわらないところで人は人を知ることにはない。見られることなくして見ることはできない。自分を開き、心を通わせてはじめて、人は人の心を知ることができるのである。(知)

## 感謝

カンパ、切手、お茶、はがき、お茶菓子、バザー用品などのご寄贈、またサロングッズのお買いあげ、ありがとうございます。お礼申し上げます。

大西暉子、岡 賀寿子、定兼萬代子、  
鈴木昭二、曾根利弘、竹村定子、  
田中美佐保、久木 浩、藤井さゆり、  
町野旬子、吉原和郎、その他の方々。

## まきみみずきん

身障者国体にでます

昨年四月ハサロン・あべのVに出席させていただいたのがきっかけで、私の人生は思ってもみなかったものとなりました。

今年十一月に行われる身障者国体に、アーチェリーと卓球で出場することになりました。

昨年六月二日からのアーチェリー教室で武山先生の「来年の国体を目指して頑張りなさい」の言葉を励みに、一年間頑張ってきて夢が叶いました。

この第一のきっかけを作ってくださった大阪市長居障害者スポーツセンター主幹高橋明先生、ハサロン・あべのV運営委員の皆様、筋力・メンタルトレーニ

ングでお世話になっている同センターの森嶋勉先生、未熟だった私の技術をこれまでに指導してくださった一九七二年オリンピック選手の梶川博様、そして私を支えてくれている主人と子供、数多くの友人。そして、この間からお世話になっている大阪市立大学の渡辺一志先生、あまりにすごい人材に恵まれ身にあまる幸運に感謝の気持ちでいっぱいです。このご恩を少しでもお返しする事が出来ればと、残された機能を使ってする手話を思いつき七月一日から習いに行っています。また、他の世界も広がっていく気がします。皆様、本当にありがとうございます。(大北清子)

# 美智子のこんな話

岸田美智子

障害者のチャレンジ精神に応援を！

介助に、サポートに、

あなたの力を貸してください

「こんな生活をしたい」「自分は、もっとこうしたい」：多くの障害者は、障害があるために、介助が必要のために、自分で決めて、自分で選ぶという機会が極端に限られています。

自立生活センターMYIDOKU(まいどく)では、障害があっても自分らしい生き方を見つけていくために、「相談活動」や制度の利用方法などの「情報提供」を障害者ス

タッフが中心となり進めていきます。

自分の人生を自分で切り広げるために、MYIDOKU(まいどく)は、その手伝いをしていきたいと思っています。

秋からは「自分らしい外出プランを作り、体験しよう！」というテーマで5〜6名の障害者がチャレンジをしていく『自立生活プログラム』を開催します。

## 【期間】

9月から11月の隔週の土曜日。

全6回のプログラムを予定しています。

詳しい日程時間帯につきましては、面談等でお伝えします。

## 【プログラムの主な内容】

- ・ 自宅から目的地までの外出計画を作ってみる。
- ・ 電車やリフトバスを利用してみる。
- ・ 介助者に自分の意志を伝えられたかどうか？ もつとうまく伝えるなら、どうしたらいいのか？ みんなで考える。などです。

## ◆お願しいたい内容は：

①参加障害者の送迎介助、トイレ介助、食

事介助：など。

②障害者が、交通機関を利用し、地図を見ながら、自分で考えて外出するプログラム時の外出介助。  
講座日の10時〜17時で応援を待っています。

《MYIDOKU(まいどく)も手伝って！》

日常の障害者スタッフの介助や、事務的なお手伝いをしてくださる方も募集中です。ぜひ、あなたの力を貸してください。

▼日時 月曜日〜金曜日(火曜日を除く)

▼時間 朝10時〜夕方5時頃まで

この中であなたの都合のいい曜日

・ 時間を選んでください！

▼交通費 実費と少しの介助料が出ます。

あなたからのご連絡をお待ちしています！

連絡先！！

自立生活センターMYIDOKU(まいどく)

〒558-10001

大阪市住吉区大領5-10-16

ライフ・ネットワーク内

TEL 06-607-8260

FAX 06-607-5503



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」8月の出会い

日時；8月 1日(土) 午11時30分～午後4時

場所；淀川区民センターグランド  
大阪市淀川区野中南町2-1-5

内容；「祭りだワッショイ、  
たこ焼きだホイ」

今年も区民祭りでしたこ焼きを焼きます。

指導；宮本志津代氏

会費；なし

問い合わせ先；淀川区社協 ボランティア・ビューロー

TEL06-394-2900

■「サロンつるみ」8月の出会い

日時；8月 2日(日) 午1:30-4:00

場所；大阪市立鶴見会館2階  
[鶴見区横5-5-51]

内容；メーキングカラー  
～心のいやし～

パネラー；福永享子氏

会費；なし

問い合わせ先；TEL06-913-7070

(鶴見区ボランティア・ビューロー山本)



■《てくてく・すみよし》8月の出会い

日時；8月9日(日)

集合場所；①長居障害者スポーツセンター  
午前9時30分

②地下鉄御堂筋線心斎橋駅  
午前10時

内容；大阪ドーム見学会

参加費；1000円

(見学料のみ、交通費・昼食費は含みません)

締め切り；7月末日

お申込み・お問い合わせ先；

TEL06-692-8411(山本)

■「サロンいたみ」8月の出会い

日時；8月下旬(予定)

場所；伸幸苑

[伊丹市寺本6-150]

内容；「ミニ コンサート」

～ピアノとコーラス～(予定)

参加費；無料

連絡先；TEL0727-84-0057

(19時以降、砂脇まで)

■第3回「出会ボランティアサロン」

日時；8月22日(土) 午後6時半～

場所；岸和田市立福祉総合センター

内容；「絶望を～今 袖から吹いてくる風の声～

希望へのスタートラインに」

～大地震から3年半 これから新たな震災が始まる 取り残される被災者の声を聴け！～

パネラー；上原孝仁氏

(王子公園仮設住宅自治会長・仮設居住者実態調査の会代表)

参加費；無料

お問い合わせ先；TEL0724-22-0686(阪井健二)

朗読テープのご案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、  
＜サロン・あべの＞紙144号の録音テープ（60分）が出来ました。

朗読テープ文庫

1. ＜サロン・あべの＞紙は、第1号より144号までそろっています。  
（50号は、90分と60分の2本のテープに、100号は、120分テープ2本）
2. ＜サロン・あべの＞10周年記念誌「はあとが、はろー！」（90分テープ2本+120分テープに収録）
3. 絵本「未知の記憶」（作・絵=中川勝彦）
4. 「ラジオたんぱ」放送『＜サロン・あべの＞平成7年5月の出会い』放送分（30分）
5. エッセー集「逃げた＼ヨナ＼～ボランティア活動の周辺～」（岡本栄一著・表谷恵美子音訳）

いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。（☎06-691-1028）

.....  
小さな友の会 釜ヶ崎セミナー  
参加者募集

.....  
～釜ヶ崎で心の学びと  
ボランティアの学習会～  
参加希望者は、参加申込書を郵送かFAXで「小さな友の会事務局」まで送付してください。

記

日時；8月12日（水）午前9時30分～  
場所；釜ヶ崎地区内（大阪市西成区萩ノ茶屋周辺）

内容；☆釜ヶ崎地区の歴史と現状の学習  
☆釜ヶ崎地区の人達との交流と施設の見学など

講師；石川 洋 氏 他  
参加費；1000円（資料代他）  
（交通・昼代は別）

お申込み・お問い合わせ先；  
小さな友の会事務局  
阪井健二気付（0724）30-3600



FROM EDITOR 編集後記

＜サロン・あべの＞昨年4月の出会い「スポーツ考—あなたのスポーツ、アドバイスします—」で、高橋明先生の「残存能力でスポーツを楽しむことが大切…」に啓発された大北清子さんがアーチェリーを始めて1年、見事大阪代表の金的を射止められました。なんとも、まあ、いうは易い「めざせ金」。それでもあえていいます「めざせ金」。 (石)



の(物と事)の  
応援お願いします。

- 品物を寄贈してください
- 準備を手伝ってください
- 販売を手伝ってください
- 買いに来てください

連絡先

石田 律 阿倍野区昭和町3-11-13 TEL06-622-2018  
 辻本輝子 阿倍野区阪南町3-40-5 TEL06-621-2241  
 富田慶子 阿倍野区阪南町6-3-26 TEL06-691-1028  
 中原友喜 阿倍野区丸山通2-10-6 TEL06-652-1208  
 久木 浩 阿倍野区晴明通り11-56 TEL06-651-4730  
 山村貴司 東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-691-9071

品物をご連絡くだされば取りにうかがいます。またこ  
 われるものでなければ送料着払いでお送りくださって  
 も結構です。勝手ですが、古本・古着などご使用にな  
 ったもの、およびなまものは遠慮させていただきます。

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.145[ '98. 7.18.発行] 定価¥100.

代 表；上平幸雄〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表 題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941

印 刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213